

株式会社はやて

多機能型事業所「NOVAS」(恵庭市) ※うち就労継続支援B型について記載

○基礎情報【経営形態：野菜の栽培、牛馬の世話】

【職員数：12名、就労継続支援B型利用者数：14名(知的及び精神障害者)】



<問い合わせ先> 多機能型事業所 NOVAS ☎ 0123-25-5987

1 農福連携に取り組んだ経緯

福祉支援の会社に勤めていた頃、水耕栽培を手掛ける企業と出会い、人手不足の相談を受けたことを契機として農福連携と関わった。また、その中で農業の幅広さを知り、障害を持つ方にとって、将来農業以外にも繋がるスキルが多く得られるという農福連携の可能性を感じたことや、動物との触れ合いが精神面で重要な役割を果たすという実体験から、農業と動物の触れ合いを軸にした事業所を平成29年6月に設立。

2 取組内容

- (1) 就労形態：自農園における農作業並びに施設外就労による農作業及び牛馬の世話
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間(休憩)／稼働日：10:00～15:15(昼休憩1時間)／月曜日～土曜日
※施設外就労先やイベントの事情により変動することがある
- (4) 工賃：200円～/時間(定期変動制) ※賞与あり(1～2回/年)
- (5) 送迎：あり(原則、北広島・島松・恵み野・恵庭の4駅)
※その他は応相談
- (6) 昼食：あり(200円/食) ※希望者のみ・要予約



3 取組の特徴

- (1) 自農園(借りている約1haの農地)において、長ネギやタマネギをメインに、在来種の野菜(黒千石大豆、札幌黄、ステラトマトなど多品種多品目の野菜)を育てる他、自己所有馬を2頭飼っており、事業所の利用者(以下「利用者」という。)が、野菜の栽培や厩舎のボロ取り(糞の片付け)などの作業を行う。
- (2) 利用者は、事前に自農園において農作業のノウハウを学び経験を積んでから施設外就労を行うため、就労先から戦力として評価されることが多く、結果として請負の長期継続に繋がっている。
- (3) 酪農家での牛舎清掃において、給餌で発生する餌のロスを解消するため、餌寄せ作業を行ったり、自農園において、自然農法による体に優しい作物の栽培に取り組むなど、SDGsの目標に基づいた作業を行う。
- (4) 栽培した野菜は、店頭やマルシェで販売する他、卸販売、道の駅に隣接する有名直売所の福祉ブースでも販売。店頭販売では、地域住民と直接触れ合うことにより、リピーター率が上がっている。
- (5) 北海道和種馬保存協会が行うホーストレッキング等の活動に受託業者として参加し、協会から無償貸与された馬で引き馬などを行う。
- (6) 冬場は牛馬の世話や豆の選別の他、視野を広げるため、クリーニング作業など農業以外の作業も行う。
- (7) 工賃は、作業能力や支援計画取組状況に基づく変動制度(評価項目を全職員で評定の上会議で決定)。

4 障害者就労への考え方

- (1) 五感に触れ、日の光を浴びる農作業や牛馬に関わる作業は、利用者の体力向上や症状の改善など体調の安定に繋がるとの考えから、就労継続支援B型においては、農業に特化した取組を継続している。
- (2) 利用者の将来の自立を見据え、全ての作業においてプロと一緒に仕事をすることが大切であるという考えから、農家や酪農家に出向くのはもとより、自農園においても、農業に精通した職員が指導している。

5 今後の課題や将来展望

- (1) 農地取得のため、設立した子会社(合同会社ロチェスファーム)で農地適格法人の認定を受けたい。
- (2) 収益維持とのバランスの範疇で、段階的に自農園を全て無農業による自然農法へと切り替えていく。
- (3) 乾燥野菜の加工など自社による6次産業化に取り組み、安定的な冬場の作業を確保する。
- (4) 安定的な販路確保のため、補助金等も活用しながら、自社で総合的なECサイトを作りたい。
- (5) 恵庭市内を基本に、低料金のグループホームを開設し、より広範囲の方に事業所をご利用いただきたい。
- (6) 最終目標として、人の共生及び人と動物の共生をコンセプトにした1つの村のような居場所を作りたい。